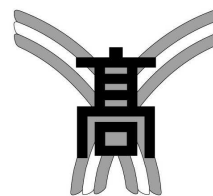


君の授業に乾杯。



【1年間よろしくおねがいします】

学力向上推進委員会も6年目に入りました。今年度も様々な取組を計画・実践していきます。ご無理をお願いすることもあります。ご協力ください。昨年度同様にこのような「A L通信」を随時発行します。委員会の議事や取組の進捗状況など、情報のスムーズな伝達を目指したものです。ご一読ください。



【厳しい条件ですが、がんばりましょう】

報道では、新型コロナウイルス感染症のクラスター(集団)発生を避ける上で、(ア)換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底、(イ)多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮、(ウ)近距離での会話や大声での発声をできるだけ控えること、が重要であると指摘されています。

これらは、今年度の研究テーマ「協同学習」を中心に据えた持続的な授業改善を進めていくうえで大きな障害となります。しかし委員会としては「100か0か」ではなく、条件に配慮しつつ協同性を生かした効果的な授業のありかたを模索していくほかないと考えています。

以下は全授業で実施していただきたい授業の形です。各教科、事情はあると思いますがご協力ください。

(ア) 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底のために

- ①廊下側のドア・天窓・地窓、また廊下の窓は開けておく。
- ②教室の窓は、可能な限り(風・日当たりなどで授業の支障にならない限り)開けておく。
- ③授業担当者は、授業の最後に窓を開けさせ、休憩時間中はそのままにしておくように指示する。

なお盗難防止のため、移動教室の際には前後のドアを閉めてください(天窓・地窓は開ける)。生徒にも「最後に教室をでる人は、消灯と2つのドアを閉めて行くように」とご指導ください。

(イ) 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮

- ①授業は、全員が黒板の方を向いた一斉講義型形式を基本とし、班体型はとらない。
- ②授業担当者は、授業の最初に机間を確認し、生徒同士の間隔が均等になるように整頓させる。少人数授業の場合はできるだけ教室全体を使い、間隔が十分に取れるようご配慮ください。

(ウ) 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える

- ①3名以上のグループワークや、立ち歩きの活動は当面向わない。
- ②座ったままのペアワークはある程度やむを得ないが、手の届く範囲での会話や活動はできるだけ控える。



厳しい状況ですが、こういうときこそ授業のあり方を考える絶好の機会です。生徒・保護者にも「ぎりぎりの中で、工夫しながら授業をしている」というメッセージを伝え、理解を求めながら今は踏ん張りましょう。やまない雨はありません。